

## 地上の星(32) J.C.ヘボン博士



### 名医、聖書全巻を日本語に訳す！

辞書も満足になかった時代に、聖書和訳という偉業を成し遂げた中心人物は何とアメリカ人だった。結婚後、医師として不動の名声を勝ち得ていたヘボンであったが、開国したばかりの日本に福音を伝えることこそが自分の使命と確信し、周囲の猛反対を押し切ってまだキリシタン禁制の1859年来日。当時は外国人排斥の空気が強く、ヘボン夫妻も命を狙われる日々が続いた。しかし無料診療所を開き、五ヶ月間で3千5百人の患者の手当をし、次第に信頼と名声を勝ち得ていく。その中で当時の日本人の寿命が短い原因は不道德と罪にあることを見抜き、「人間の不幸に対する唯一の万能薬」である福音を伝えるために聖書翻訳を決意。日本人の協力を求めながら、ただ一人最初から最後まで関わった。実に完成まで28年を要する大事業であった。また妻クララが英語を教えることから始まったヘボン塾は、やがてフェリス女学院、明治学院へと発展していくことになる。今回は、日本の恩人とも言うべき、ヘボン博士の波瀾万丈の人生にスポットライトを当てます。

1. 日時：7月4日（金） 10:30 AM より
2. 場所：ゴスペルホール（電話 026-295-6705）
3. 講師：尾崎富雄（ゴスペルホール代表）

**入場無料。どなたでも参加できます。**